

曾於市 Soo CITY 話題の広場 Topics

みんなの夢を書で描こう！



10月24日、末吉町諏訪小学校で書道家武田双雲さんをお招きし、体験型の特別授業が開催されました。

当日は、諏訪小学校、光神小学校の児童の他、保護者、一般客など総勢120人の方々が参加し、プロ書道家の巧みの技を心ゆくまで堪能しました。

この事業は、NTTドコモが「みんなの特別授業」と題して開催したもので、憧れの講師から「夢を実現していく体験」やノウハウを吸収し、子供達にコミュニケーション能力を培ってもらうことを目的に開催されたものです。

武田さんの講義の後、書をしたためる子供達。緊張しながらも自分の直感で思った事、普段何を大切にしているかを自分の中で確認できたようです。

子供達の心の中に、双雲先生が書いてくれた大きな「夢」の書と共に「夢を抱いて生きていく気持ち」という大きな宝物を頂いていたような気がしました。

防災意識の高揚を



11月5日、末吉中央公民館で消防団、自主防災組織、大隅曾於地区消防組合北部消防署の方々、見学者など総勢70名が参加して曾於市管内災害図上訓練が開催されました。

この訓練は、地域の特性を理解し、地域の特性に応じた災害の発生を予想し、それに対応できる能力を養成するため、図上訓練を通じて、災害対応能力の向上と防災意識の高揚を図ることを目的としています。

この訓練に自主防災組織の一員として参加された、末吉中央公民館役員の亀井守之助さんは、「訓練を通して、いざという時に何をすべきかということを地域に持ち帰り周知徹底していきたい。意識高揚のため毎年このような訓練をして欲しい。」とおっしゃっていました。

環霧島地域の文化に触れる



鹿児島県、宮崎県5市2町（霧島市・都城市・曾於市・えびの市・小林市・湧水町・高原町）でつくる「環霧島会議」の第5回会議が、10月22日、財部中央公民館で開催されました。

会議では教育長会議の規程や教育専門部会の設置、補正予算などが上程され、活発な論議の中、すべての議案について原案どおり可決しました。

また、環霧島会議の構成市町で組織する霧島ジオパーク推進連絡協議会から、これまでの活動の報告と、来年度申請を予定している日本ジオパーク認定へ向けて、努力していくことを確認しました。

会議の後、財部きらめきセンターで各市町による郷土芸能の披露もあり、環霧島地域はますます結びつきを深めたのではないのでしょうか。

日頃鍛えた健脚を競う



10月28日、末吉町栄楽公園グラウンドで第4回曾於市小学校陸上記録会が開催されました。

この記録会は、曾於市内20校の小学校の代表が集い、日頃鍛えた健脚を競いながら、自分達の記録をめざしていく大会です。

当日は、秋らしくとてもすがすがしい天候で、自分の目標に向かって一所懸命頑張る生徒達の姿が見られました。

末吉小学校からこの記録会に参加した石川淳君は「100m走で自己新記録は出せなかったけど、リレーで一位になれてよかった。いろんな学校の人と会うことができて楽しかった。」と笑顔で話してくれました。

楽しかったね!! 親子ふれ愛ファミリーコンサート



10月18日（日）末吉総合センター大研修室で「親子ふれ愛ファミリーコンサート」が開催されました。

曾於市地域子育て支援センターの企画により、長瀬義人先生の指揮のもとメセナ楽団のみなさんの心のこもった、心に響くすばらしい演奏を堪能しました。

子どもたちの知っている曲をはじめ、幅広い演奏や、楽器紹介、アンパンマンによる進行で、楽しい時間を過ごしました。「アンパンマンマーチ」では、手作り楽器でリズムに合わせて身体を動かして、会場全体が一体になり、感動の輪が広がりました。

参加者からは「内容、質ともにすばらしい演奏」「親子そろって生の音楽に触れる機会を作ってもらい、大変うれしかったです」とおっしゃっていました。

地域社会の創造に まちづくり振興基金



←商工会青年部
へ贈呈



末吉鬼神太鼓→
へ贈呈

10月13日、19日にそれぞれ鹿児島相互信用金庫末吉支店で、末吉鬼神太鼓と曾於市商工会青年部が、公益信託「そおしんまちづくり振興基金」の贈呈を受けました。

この基金は、鹿児島県内における「まちづくり」に関する諸事業の実施や活動に対する助成を行うことにより、地域の振興と住民の方々の快適で明るく豊かな地域社会の創造・発展に役立てていただくことを目的に設立しているものです。つまりみんなの元気なまちづくりに使われる基金だそうです。

今回この基金を利用して、末吉鬼神太鼓や曾於市商工会がハッピーやのぼり、スタッフジャンパーなどを購入するそうです。

この基金で、ますます曾於市が盛り上がってくればいいですね。

和太鼓の響き 感動の渦



10月26日、財部きらめきセンターで、和太鼓集団「鼓童」の公演が開催されました。

鼓童は、新潟県佐渡市を拠点に、1年の1/3を国内公演、1/3を海外公演、1/3を佐渡で過ごし、国境もジャンルも飛び越えて活躍している団体です。

財部きらめきセンターの公演では、日本各地の伝統芸能から創作した「三宅」、「屋台囃子」などのほか、クラシックの作曲家から提供された「モノクローム」、会場を笑わせたユニークな創作曲「ジャンガラ」など11曲を演奏しました。なかでも大太鼓の演奏は、約13分間、人間の体力の限界を超えるほどの演奏で、その和太鼓の響きに感動の涙を流す方もいらっしゃいました。

アンコールが終わり出演者が舞台上に勢揃いすると、会場全体が感動のうずとなり、来場者は立ち上がって感激の拍手を送っていました。たくさんの方々が、「何回でも観たいので、また曾於市で公演してください。」と言われて帰って行けました。

自分の職場は、自分達で守る意識で



11月12日、消防組合訓練場(大隅町八合原昭南病院前)で、第6回屋内消火栓操法大会が開催されました。

この大会は、屋内消火栓の設備等を設置している事業所において、その設備等の迅速的確な操作により被害を軽減するとともに、併せて防火意識の高揚を図ることを目的として、平成16年度から開催されているものです。

当日は、曾於地区内から20チームが集まり、日頃の訓練の成果を発揮しようと、どのチームもきびきびとした行動で通報や消化作業を行っていました。

この大会に南九州畜産興業株式会社Aチームとして参加した重信美保さんは、「消化器の使い方がわかってとても良かった。実際に火災等が起きたとき、焦らないように普段から自分の職場は、自分達で守るという意識で勤務をしていきたい」とおっしゃっていました。

すくすく育て かわいい子供達



11月12日子育て支援センター主催のミニミニ運動会が開催されました。

この運動会は、幼児や乳幼児を持つ父母と子供達で楽しみながら、かけっこやハイハイ競争、玉入れなどを行うもので、あどけない子供達の笑顔で会場は溢れていました。

お母さん方は、それぞれカメラやビデオを片手にわが子の成長ぶりを、微笑ましく眺める姿がとても印象的でした。

このかわいらしい子供達、これからも元気にすくすく育て欲しいですね。

熊田興正さん 瑞宝双光章受章



11月13日、末吉町二之方にお住いの熊田興正さんが、秋の叙勲を受章された事の報告にと市長室を訪問されました。

熊田さんは、大蔵寺の住職をする傍ら、39年間に渡り保護司として、犯罪を犯した者が更生する手助けをしてきたことを評価されての受章であります。

お話をお聞きすると「この仕事を頂いたとき、31歳と若く、何も分からなかった。それでもたくさんの方々にお力添えを頂き、ここまでやってこれたこと、本当に皆さんに感謝しています。今後とも微力ながらこの分野で精進し、少しでも皆さんのお役に立ちたい。」と力強くおっしゃっていました。

親子の絆を十分アピール



11月14日、大隅文化会館で県PTA活動研究委嘱公開大隅ブロック大会が、曾於地区内外から約750名の参加のもと盛大に開催されました。

研究発表では、大隅南小、月野小、大隅中学校がそれぞれ特色のあるPTA活動を、ユーモアも交えながらも的確に、課題や解決策などを参加した方々に提案しました。

アトラクションでは親子弥五郎太鼓の演奏があり、楽しい太鼓や笛の音色、息の合ったばちさばきで、親子の絆を十分アピールする事ができました。

アトラクションの後、鹿児島大学教授の原口泉先生による「今、親がなすべきこと」と題した講演では、心温まるお話があり、終始穏やかな雰囲気の中大会を終了する事ができました。